

## 2003A期、2003B期実施開始の長期利用課題研究紹介

登録施設利用促進機関  
財団法人高輝度光科学研究センター  
利用業務部

2003A期に特定利用課題（現：長期利用課題）として、2003B期に長期利用課題として採択しました3課題につきましては、2005B期、2006A期に終了し、事後評価が実施され、その評価結果及び成果リストについては、前々回利用者情報（Vol.12 No.1）に掲載しました。

今号では、3課題のうち2課題、〔課題名〕「100万気圧以上における高温その場観察実験の開発と地球惑星内部物質の相転移の研究」を「超高压で探る地球のマントル最深部」として、〔課題名〕「多剤排出蛋白質群のX線結晶構造解析」を「多剤排出トランスポーターの立体構造と作動機能」として掲載いたします。

〔実験責任者〕

巽 好幸（（独）海洋研究開発機構（採択時は、海洋科学技術センター））

〔課題名〕

100万気圧以上における高温その場観察実験の開発と地球惑星内部物質の相転移の研究

〔課題番号/ビームライン/実施シフト〕

2003A0013-LD2-np	BL10XU	30シフト
2003B2013-LD2-np	BL10XU	36シフト
2004A3013-LD2-np	BL10XU	42シフト
2004B4013-LD2-np	BL10XU	36シフト
2005A5013-LD2-np	BL10XU	36シフト
2005B0010	BL10XU	21シフト

計201シフト

〔実験責任者〕

村上 聡（大阪大学産業科学研究所）

〔課題名〕

多剤排出蛋白質群のX線結晶構造解析

〔課題番号/ビームライン/実施シフト〕

2003B0036-LL1-np	BL41XU	12シフト
2004A2036-LL1-np	BL41XU	15シフト
2004B3036-LL1-np	BL41XU	12シフト
2005A4036-LL1-np	BL41XU	09シフト
2005B0008	BL41XU	09シフト
2006A0008	BL41XU	12シフト

計69シフト